

令和7年度小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	NPO法人なたちち福祉会	理事長	村 田 正 明	法人・事業所の 特徴	事業所の理念に基づき、利用者との関わりを大切にし、スタッフが常に笑顔で寄り添うようにしている。利用者の状態や希望に添ったサービス提供を心がけ、状態の変化に合わせて柔軟な対応をしている。ニコニコ便を利用する等、介護予防や介護が必要になったら小規模多機能サービスを活用することで、誰もが安心して暮らし続けることができる「地域づくり」に取り組んでいる。
事業所名	なたちちニコニコホーム	施設長	升 屋 信 子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者家族	地域包括支援センター	近隣地域住民	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	3人	1 人	1 人	1 人	2 人		10 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	オンライン研修でなくなっても、できるだけ研修には参加する。またオンラインにしてもらうよう働きかける。	自施設にて研修が受けられることで思いのほか、多人数が研修を受けられることが出来てよかった。	自己評価についてはどうしても独りよがりになりがちなので、もっと職員が意見交換したら良い。	まだまだオンラインでの研修が多いので、できるだけ研修に参加できるようにする。
B. 事業所のしつらえ・ 環境	すべての感染症に対応できるように注意を怠らず、業務継続計画をしっかりと読み込み覚えるようにする。	利用する方が安心して利用できるよう、昨年に引き続き新型コロナ感染症対策に配慮した環境整備に努めた。	利用者、職員共々マスク着用を義務付けているし、パーテーションは継続したほうが良い。	業務継続計画をしっかりと覚え、病気についての勉強を怠らず今までのように継続していく。
C. 事業所と地域の かかわり	民生委員協議会や社会福祉協議会とも連携を図り、幅広くニコニコホームを知っていただくようにする。	震災の為一年間計画がぬけてしまった形になったが、職員一同できるだけのことをして営業を続けた。	すこしずつ以前の状態に戻りつつあるが、震災の影響は建物の修理を含め中々復活できない。	広報と一緒にホームだよりを配る等もっと知っていただくようにする。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	地域の色々な情報を集め、できるだけ利用者様が楽しめるような状況を作りたい。	震災の影響で地域のおとし寄り含めて、約100名減になった為、地域の行事等が出来なくなったこともあり地域に出向くことがなくなった。	自宅生活に心配のある利用者の暮らす環境について着目し、かかわり方を検討する。	地域に出向く事がなかなか難しいなか現状何が出来るかを見きわめながら活動に取り組んでいく。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	少しでも委員さんの任期を伸ばすことでニコニコホームを知っていただく。	毎年新しい推進委員さんを迎えて会議を行うため、委員さんに事業所を知っていただくことが大切である。	交代時期を延ばすことで少しでも事業所の事を知っていただき、ホームの事を知る方が多くなってもらうことが肝要である。	震災時の修理が終わった次点で新たに委員会を開きニコニコホームについて知っていただく。
F. 事業所の 防災・災害対策	緊急避難の場所がないことで住民及び利用者が不安を覚えることがないように行政に働きかけていく。	能登半島大震災が勃発し、実際に避難し、営業を停止しなければならない事態に陥り、地域中が大変な目に合った。今後も余震が続くことを想定し、訓練を怠らず継続を図る。	火災、水害、地震を想定した訓練は継続しつつより実際に近い訓練を実施していくようにする。	実戦に近い訓練が実施できるようにしていく。